



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社ギフトィ 上場取引所 東
 コード番号 4449 URL https://giftee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 太田 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤田 良和 (TEL) 03-6303-9318
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	819	△6.3	186	△39.3	181	△40.9	119	△43.1
2019年12月期第2四半期	874	—	307	—	308	—	209	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 116百万円(△44.2%) 2019年12月期第2四半期 209百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	4.55	4.18
2019年12月期第2四半期	8.72	—

- (注) 1. 当社は2018年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2019年1月3日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 2019年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が当時非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,262	3,678	86.3
2019年12月期	4,352	3,532	81.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 3,678百万円 2019年12月期 3,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,583	46.2	1,041	93.5	1,041	99.1	722	87.8	29.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	26,570,600株	2019年12月期	26,163,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	—株	2019年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	26,246,413株	2019年12月期2Q	24,031,000株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「eギフトプラットフォーム事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。経済活動は徐々に再開しつつあるものの、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、スマートフォン等のオンライン上で送付・使用することができるeギフトの生成・流通・販売を行っております。我が国におけるスマートフォンの保有比率が高まる中で、個人・法人・自治体等の間におけるスマートフォン上でのコミュニケーション頻度が増加しており、そのツールとしてのeギフトの需要が拡大しております。

このような環境の中、当社グループの提供するeギフト生成システム『eGift System』の導入企業が着実に増加したものの、eギフトをマーケティング等に利用する法人に向けたeギフト販売（『giftee for Business』サービス）において、一部のキャンペーンの実施が延期される等、新型コロナウイルス感染症の影響が見られました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は819,524千円（前年同期比6.3%減）、売上総利益は729,566千円（前年同期比6.3%減）、営業利益は186,665千円（前年同期比39.3%減）、経常利益は181,995千円（前年同期比40.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は119,300千円（前年同期比43.1%減）となりました。

また、『giftee』サービスの会員数は150万人、『giftee for Business』の利用企業数は495社、『eGift System』サービスの利用企業数は102社となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績の詳細は次のとおりであります。

(売上高)

当第2四半期連結累計期間における売上高は819,524千円（前年同期比6.3%減）となりました。これは、主に当社グループの提供するeギフト生成システム『eGift System』の導入企業が着実に増加すると共に、eギフトをマーケティング等に利用する法人に向けた『giftee for Business』サービスの取引が増加したものの、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響により、キャンペーン実施を延期する企業があったことによるものです。

(売上原価、売上総利益)

当第2四半期連結累計期間における売上原価は89,958千円となりました。これは社内システム強化により減価償却費が増加したものの、受託開発による開発原価が減少したことによるものです。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は729,566千円（前年同期比6.3%減）となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は542,901千円となりました。これは、主に事業拡大に伴い積極的に採用した人材に係る人件費の増加、サーバー費用等の支払手数料増加によるものです。その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は186,665千円（前年同期比39.3%減）となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第2四半期連結累計期間において、営業外収益は325千円となりました。また、営業外費用は4,995千円となりました。これは、主に為替差損4,977千円によるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は181,995千円（前年同期比40.9%減）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

当第2四半期連結累計期間において、法人税、住民税及び事業税49,598千円、法人税等調整額13,096千円を計上した結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は119,300千円(前年同期比43.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,262,452千円となり、前連結会計年度末に比べ89,747千円減少いたしました。

流動資産は3,531,802千円となりました。主な内訳は、現金及び預金2,860,243千円、受取手形及び売掛金343,496千円であります。

固定資産は730,650千円となりました。主な内訳は、投資有価証券313,522千円、敷金及び保証金63,578千円、ソフトウェア仮勘定146,810千円、ソフトウェア122,759千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は583,714千円となり、前連結会計年度末に比べ236,259千円減少いたしました。

流動負債は569,489千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金243,724千円、未払費用60,518千円であります。

固定負債は14,225千円となりました。内訳は資産除去債務14,225千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,678,738千円となり、前連結会計年度末に比べ146,511千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が119,300千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は2,860,243千円となり、前連結会計年度末に比べ322,160千円減少いたしました。当第2四半期連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は142,116千円(前年同期は155,100千円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益181,995千円、売上債権の減少額237,921千円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額196,346千円、法人税等の支払額105,467千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は487,148千円(前年同期は56,560千円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、投資有価証券の取得による支出374,005千円、無形固定資産の取得による支出112,703千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は29,890千円(前年同期は8,000千円の使用)となりました。

収入の内訳は、株式の発行による収入29,890千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で合理的に算出することは困難ですが、当社グループは、感染拡大は今夏以降は収束に向かい、社会活動や経済活動への影響も徐々に回復していくものと現時点では仮定し、2020年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から修正を行っておりません。

今後も当該感染症の動向を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,182,404	2,860,243
受取手形及び売掛金	581,295	343,496
たな卸資産	28,647	24,149
その他	247,684	303,912
流動資産合計	4,040,031	3,531,802
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	40,207	38,674
工具、器具及び備品(純額)	9,055	8,270
有形固定資産合計	49,263	46,944
無形固定資産		
ソフトウェア	52,083	122,759
ソフトウェア仮勘定	97,318	146,810
その他	544	505
無形固定資産合計	149,946	270,075
投資その他の資産		
投資有価証券	—	313,522
敷金及び保証金	63,333	63,578
繰延税金資産	49,626	36,530
投資その他の資産合計	112,959	413,630
固定資産合計	312,169	730,650
資産合計	4,352,200	4,262,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,071	243,724
未払金	66,965	59,564
未払費用	52,502	60,518
未払法人税等	127,122	63,088
その他	119,104	142,593
流動負債合計	805,766	569,489
固定負債		
資産除去債務	14,207	14,225
固定負債合計	14,207	14,225
負債合計	819,973	583,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,536,199	1,551,144
資本剰余金	1,523,199	1,538,144
利益剰余金	475,295	594,595
株主資本合計	3,534,693	3,683,883
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,465	△5,144
その他の包括利益累計額合計	△2,465	△5,144
純資産合計	3,532,227	3,678,738
負債純資産合計	4,352,200	4,262,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	874,616	819,524
売上原価	95,613	89,958
売上総利益	779,002	729,566
販売費及び一般管理費	471,503	542,901
営業利益	307,498	186,665
営業外収益		
受取利息	5	12
受取手数料	146	215
受取報奨金	277	—
その他	180	97
営業外収益合計	610	325
営業外費用		
為替差損	68	4,977
その他	0	17
営業外費用合計	68	4,995
経常利益	308,041	181,995
税金等調整前四半期純利益	308,041	181,995
法人税、住民税及び事業税	96,442	49,598
法人税等調整額	2,037	13,096
法人税等合計	98,480	62,695
四半期純利益	209,561	119,300
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,561	119,300

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	209,561	119,300
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△448	△2,679
その他の包括利益合計	△448	△2,679
四半期包括利益	209,112	116,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,112	116,621

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,041	181,995
減価償却費	8,400	15,231
受取利息及び受取配当金	△5	△12
為替差損益(△は益)	—	4,977
売上債権の増減額(△は増加)	△224,853	237,921
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233	4,491
仕入債務の増減額(△は減少)	224,319	△196,346
未払金の増減額(△は減少)	△30,925	△25,173
未払費用の増減額(△は減少)	13,547	5,415
前受金の増減額(△は減少)	△10,830	35,943
預り金の増減額(△は減少)	△47,003	22,924
その他	3,590	△39,794
小計	244,046	247,572
利息及び配当金の受取額	4	10
法人税等の支払額	△88,951	△105,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,100	142,116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△144
無形固定資産の取得による支出	△34,837	△112,703
投資有価証券の取得による支出	—	△374,005
敷金及び保証金の差入による支出	△21,722	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,560	△487,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△8,000	—
株式の発行による収入	—	29,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,000	29,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△439	△7,018
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,099	△322,160
現金及び現金同等物の期首残高	1,227,422	3,182,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,317,522	2,860,243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、eギフトプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。